

いきいき人生



公益社団法人大田区シルバー人材センター

〒144-0055 大田区仲六郷1-6-9-125
TEL.03-3739-6666 FAX.03-3734-0722
E-mail.ota@sjc.ne.jp
<https://www.ota-sjc.or.jp>



会員数 3,085名
男 1,773名
女 1,312名
2023/7/31時点

「シルバー農園」ボランティア活動で大忙し!!

【大田区立くすのき園の農園開園から2年半経過】

コロナ禍の、2021年4月に、区立「くすのき園」の利用者との交流と絆を目的としてスタートした「農園ボランティア」も、はや2年半が経過しました。空き地だった敷地は農園ボランティアの協力で今では立派な畑、農園になりくすのき園や周辺の方々から感謝の声が上がっています。

【ジャガイモ収穫祭を6月7日に開催】

6月7日に4回目の収穫祭が、快晴の多摩川土手下の「くすのき園」で開かれました。

2月に植え付けたジャガイモのキタアカリと男爵の収穫を、「くすのき園」から利用者・職員10名、「シルバー」から本部職員、総務委員、FL（農園リーダー）、FM（農園ボランティア）など20名が参加し、利用者のジャガイモ掘りのお手伝いをしました。

参加者は「ジャガイモがどんどん取れて、楽しかった!」、FLは「豊作と言っても良いほどの収穫量でジャガイモがたくさん取れホットしています」とおっしゃっていました。収穫したジャガイモは園の皆さんに寄贈して喜ばれました。



▲収穫したジャガイモの前で園の皆さんとシルバー会員

【六郷幼稚園・農園体験教室を7月10日に開催】

猛暑のなか、園児と先生合わせて15名を招きくすのき園と協力して開催しました。FL、FMが中心に、ミニトマト、キュウリ、ナス、ピーマン、唐辛子などの「水やりや収穫の仕方」を指導しました。



▲園児向け農園体験のガイダンス

園児の皆さんから「ミニトマトがたくさん取れて超よかった!」「畑の水やり、とても楽しかった!」「シルバーさん、ありがとう!」の愛らしいお礼の言葉をいただきました。



▲園児の皆さんの水やり実習

千束・雪谷ブロック会員交流会 雪谷特別出張所 3階会議室 6月27日(火) 午後2時～3時50分

雪谷ブロック所属の大越新会長を迎えて、ブロック会員交流会が数年ぶりに開催され、19名の会員が参加しました。

司会の堀口ブロック長からは、コロナ禍でなかなか開催できませんでしたが、これからは交流を図っていきたいと話がありました。

また、大越会長からはサミュエル・ウルマンの“青春とは”の「人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う」という詩を引用し、このような機会に積極的に参加して社会貢献をしたり、活力を養って欲しいとのご挨拶がありました。

ブロック役員紹介、参加者の自己紹介に続き、荒井講師による「体操ストレッチ教室」、テニスボールを使った「ながらエクササイズ」などを行いました。

また、脱水症予防のため朝から1日8回は水を飲むことなどのアドバイスがありました。

身体がほぐれたところで、頭の体操「並べ替えクイズ」は話の内容が面白く盛り上がりしました。

最後に真鍋雪谷特別出張所長のご挨拶がありました。

入会して間もない方もおられ、参加者は、「とても楽しかった」、「是非また参加したい」と話していました。

▼大越会長ご挨拶



▼ブロック役員紹介



▼各会員の自己紹介



「貝ちりめん小物講座」 蓮沼分室 7月18日(火) 午前10時～12時

カルチャー講座「貝殻とちりめん小物をつくろう！」(全3回)の1回目の講座が開催され、猛暑の中でしたが、4名が参加しました。

講師の土屋会員からは、11月開催予定の展示会に向けて頑張ってくださいとのお話がありました。

講座開始前に土屋会員が過去の教室で作られた作品の写真や、独自で考案された新しい作品の写真などを紹介し、



参加者との話が盛り上がりしました。

今回初参加の方もおられ、まずは手始めに「しじみの根付」作りから始まりました。一對のしじみ貝の一枚をちりめん糸で形に添って丸く包み込み2枚作ります。2枚の間に鈴の付いた紐を挟んでボンドで貼り合わせて完成です。

引き続き本番のあさりの貝片を使った「福来郎のストラップ」作りです。大小各一對のあさり貝の一枚をちりめん糸で包み込んでいきます。大きなあさは胴体に、小さなあさは翼になります。貼り合わせた後、頭、目、鼻、ストラップ用の紐を付けて完成です。目や鼻などの貼り付け方次第で表情が変わり、各自の個性がでるようです。

丁寧な指導と参加者の和やかな雰囲気の中で初めて参加された方も「緊張することなく楽しく講座を受けることが出来ました」と喜んでいました。

大盛況!!「スマホサロン」に延べ100名余が参加 大森西作業所 7月14日(金)・28日(金)

昨年12月にスタートした「スマホサロン」(会場:蓮沼分室、調布分室、大森西作業所)は月2回の講座を8か月行い、7月28日(金)に最終回が行われました。

参加者はそれぞれ自分のスマホで、地図・カメラ・LINEアプリの操作、グーグル検索、アプリのインストールの練習をしました。特に、LINEでは友達追加、写真やスタンプの送り方、ビデオ通話を練習し、成功した時は大喜びでした。

知りたい機能(アプリ)や操作は参加者によって多少のバラツキがありましたが、会員の講師2名とサポートとして総務委員会WEB分科会委員6名が知識を持ちより、ほぼ一對一のきめ細かい対応を行いました。

「どこから始めたらいいのかわかりません」などという参加者の方も、「こんなにいろいろ使ったのは初めてです」と操作を楽しんでいました。



新型コロナの流行が始まって3年以上が経過しました。高かった致死率は5%から0.22%にまで低下し、今年の5月より政府は新型コロナを2類から5類感染症に移行しました。つまり、今後の感染対策に関することは「政府の要請」から「個人の判断」に委ねられることになったのです。

新型コロナは予想をはるかに上回る変異を繰り返しています。変異すると、免疫逃避といって、今までのワクチンの効果が弱くなる可能性があります。

7月現在、世界的に流行している新型コロナウイルスの8割以上を占めているのがオミクロン株XBB系統です。このXBB系統は、昨年の秋以降のBA1、BA4/5系統ワクチンの追加接種によって、重症化の予防効果は保たれているものの、感染や発症の予防効果はかなり弱くなっています。6月16日、厚生労働省は、今年の9月頃から国民全員を対象として行う次の追加接種に、米国や欧州連合同様にオミクロン株XBB系統を含むワクチンを用いると発表しました。

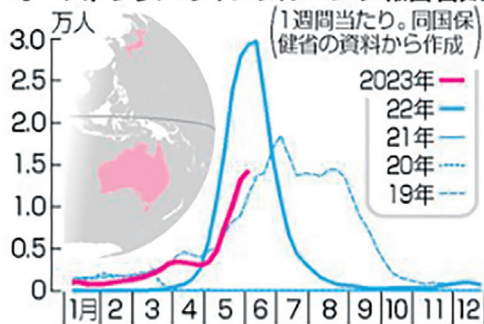
新型コロナによる死者数はまだインフルエンザの規模を上回っています。今後も流行は起こりますし、高齢者や基礎疾患のある人は重症化することもあります。「ウイルスはだんだんと弱毒化していく」という説もありますが、強い根拠があるわけではありません。ワクチンを接種した人や感染した人は、次に感染した際に重症化しにくくなることは確かです。今後も新型コロナの予防接種を受けることをお勧めします。

さて、南半球に位置するオーストラリアは昨年3年ぶりにインフルエンザが大流行し、その冬に日本でも流行しました。今年もオーストラリアでインフルエンザは流行しており、日本の冬も昨年と同様に、新型コロナウイ

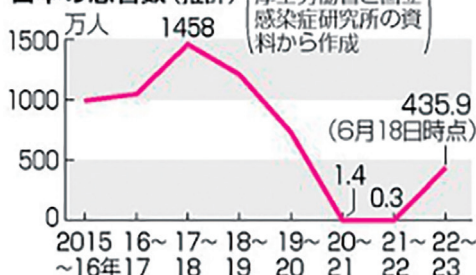
ルスとインフルエンザが同時に流行する可能性が高いです。インフルエンザの予防接種は今年も受けることをお勧めします。

今年もワクチン接種に加え、これまで通りの感染予防（マスクや手洗い）を行い、新型コロナウイルスとインフルエンザの流行を乗り越えましょう。

オーストラリアのインフルエンザ報告者数



日本の患者数（推計）（厚生労働省と国立感染症研究所の資料から作成）



【図解】オーストラリアのインフルエンザ報告者数（2023年6月26日時事メディカルより引用）

大田派遣事業所（大田区シルバー人材センター）
産業医 ヨコヤマクリニック 横山真也

ハツラツ! 会員の声

Vol.80

地域に少しでも役立てればと思っています

■ 監物 増夫さん（72歳）【施設管理業務】総務委員 馬込ブロック長



若い頃に同級生に誘われ中馬込宮ノ下町会に入り、今は副会長をしています。先日消防防災訓練があり市民消防隊の隊長としてC級ポンプの操作訓練をしました。若い頃から少しでも地元の役に立てればと

思って過ごしてきました。

シルバー人材センターには7年前に入会。今は「障がい者総合サポートセンター」で施設管理業務に就業しています。4名の会員で平日一回、土日祝日一回の週二回ローテーションしながら就業しています。貸館業務が中心で具体的には帳簿管理や備品準備、館内現状復帰の確認などがあります。緊急事態の場合、事務局担当者等への至急連絡が必要となるため、普段から「報連相」（報告・連絡・相談）を心掛け、緊急時への備えも怠らないようにしています。

他の就業は、掲示板管理と雨水桝への薬剤投入業務もしています。薬剤投入業務は、年配の方から「おか

げで最近蚊が少なくなった、ありがとう」と声を掛けられることがあり、役立っていることを実感しています。

若い頃はオーディオに凝ったり、サイクリング、ハイキング、山登り、ドライブなどで日本中を巡ったりしていましたが、最近はもっぱら都内、区内をウォーキングしています。

6月からセンターの総務委員、馬込ブロック長になりました。これからさらに広がると思われる行動範囲を生かし、今まで以上にいろいろな方々と会話して、ますますお役に立つことが出来て、生涯現役で過ごせたとしたら、こんなにうれしいことはありません。

大田区からのお知らせ

自転車の盗難にご注意ください!

大田区内で自転車の盗難が多発しています。
特に住宅での盗難が多く、また、令和4年は盗まれた自転車の約6割にカギがかかっていませんでした。



自転車は買い物等で手軽に使用できる便利な乗り物ですが、施錠をせず停めたままにしていると簡単に盗まれてしまいます。停めたはずの自転車が盗難に遭えば日常生活に大きな支障があります。

盗難に遭わないためには

- わずかな時間でも自転車から離れる時は必ずカギをかけましょう。
- 住宅や駐輪場でも油断せず必ずカギをかけましょう。
- 特にカギはツーロック（二重ロック）が効果的です。自転車へのカギかけは区の条例で定められています。盗難防止にはカギかけの意識が大切です。



©大田区

〈問合先〉

都市基盤管理課 交通安全・自転車総合計画担当
電話 03-5744-1315 FAX 03-5744-1527
防災危機管理課 防災危機管理担当
電話 03-5744-1634 FAX 03-5744-1519

「お困りごと相談」のお知らせ

次の日程で「お困りごと相談」（就業上のトラブルや悩みの相談）を予定しています。



相談日時: 9月21日(木)13時30分～

場 所: センター本部 作業室

申込方法: 会員番号・氏名・住所・電話番号・相談内容を任意の紙にご記入の上、本部に郵送又はご持参ください。

問合先: 03-3739-6666 事務局 鈴木

第2回 植木剪定基礎(低木)研修のご案内

植木剪定基礎講習会を開催します。初心者の方、興味のある方も、お気軽にお申込みください。

日 時: 9月14日(木)9時～16時
※雨天の場合 9月21日(木)変更

募 集: 9月5日から受付開始

場 所: 鶴の木3丁目

服 装: 動きやすい服装(長袖)

持 ち 物: 飲み物・弁当

参加申込: 03-3739-6666 事業部まで

※詳細は同封のチラシ・会員HPをご確認ください。



『かこサロ』開催のお知らせ

家事援助サービス・子育て支援サービスに就業している会員の交流場所です。みなさん、1人就業なので、就業中の悩みやお客様への対応、他の会員さんはどうしているのかな?など、同じ就業の仲間同士お話しませんか? 会員コーディネーターも参加します。ぜひご参加ください。

日 時: 9月15日(金)13時30分～15時30分

場 所: 蓮沼分室
(西蒲田3-19-1ふれあいはずめ1階)

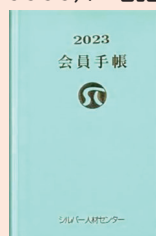
申込方法: 03-6715-9855 蒲田分室まで

2024年版会員手帳の予約について

購入希望者は事務局本部(03-3739-6666)に電話でご予約ください。価格:297円(税込)

【予約締切】令和5年9月29日(金)

入荷次第(10月下旬予定)連絡します。本部の窓口にて代金引換でお受け取りください(受付時間9時～12時、13時～16時)。なお、できるだけおつりが出ないようご協力をお願いいたします。



※画像は2023年版のものです。

自転車安全対策助成(ヘルメット助成)

改正道路交通法の施行により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。

大田区では、令和5年7月20日から自転車乗車用ヘルメットの購入時に、費用の一部を助成する制度(助成額2,000円)が開始されました。詳細は大田区HPをご確認ください。



▲詳細はこちら

〈問合先〉

都市基盤管理課 交通安全・自転車総合計画担当
電話 03-5744-1315 FAX 03-5744-1527

今後の配分金の支払日について

8月分 9月29日(金)

※就業報告書は、就業が終わり次第速やかにご提出ください。